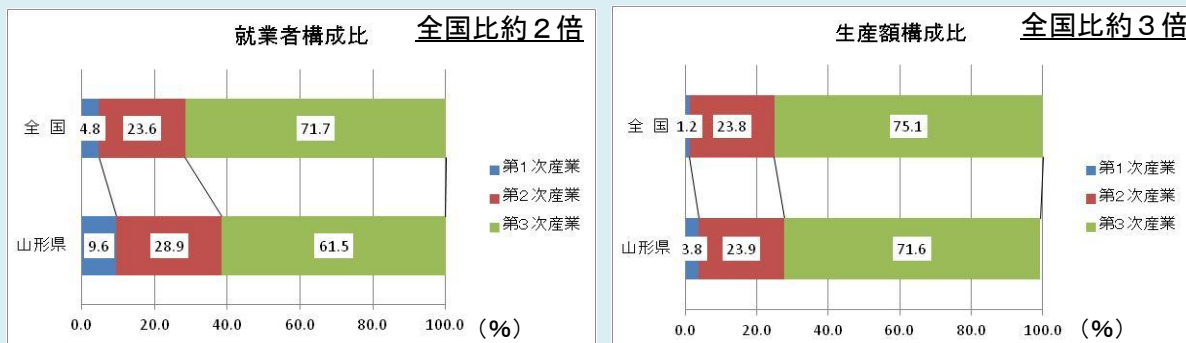


TPP協定と本県の関係について(概観)

1 本県産業の構成

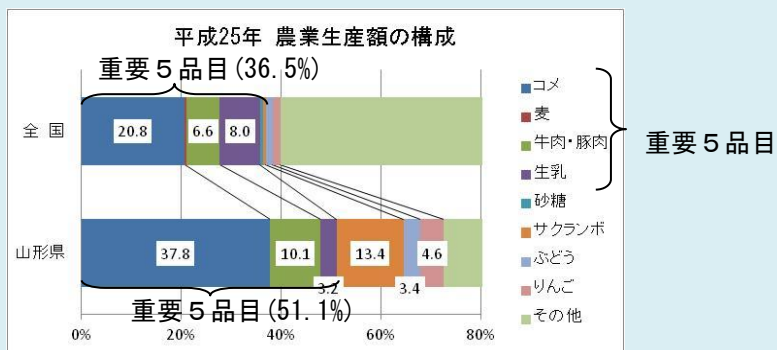
本県における第1次産業の就業者・生産額のシェアは共に、全国と比較して割合が高い。
 ⇒ 他県に比べ農業が重要な位置づけであり、TPPの影響が相対的に大きい。



※平成24年度国民経済計算(全国)、平成24年度 県民経済計算(山形県)

2 本県農業生産額の構成

本県における品目別の農業生産額は全国と比較して、コメ、牛肉・豚肉をはじめ重要5品目の占める割合が高いほか、さくらんぼをはじめとする果樹の割合が高い。
 ⇒ 今回のTPP協定においては、重要5品目や果樹等について、関税撤廃等がなされており、特に万全の対応が必要。



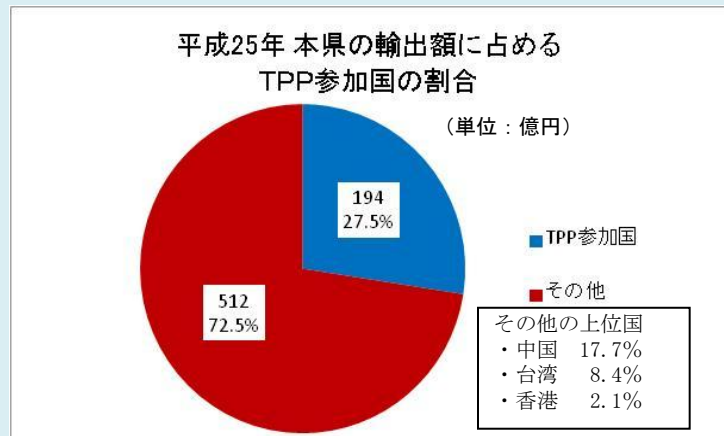
主な農産物の構成比

	コメ	小麦	牛肉・豚肉	生乳	砂糖	さくらんぼ	ぶどう	りんご	その他
全国	20.8	0.4	6.6	8.0	0.7	0.5	1.3	1.6	60.1
山形県	37.8		10.1	3.2		13.4	3.4	4.6	27.5

(重要5品目の割合) 全国 36.5% 山形県 51.1%

3 本県の輸出額に占めるTPP参加国の割合

輸出額に占める割合は27.5%。
 ⇒ 既にTPP参加国と本県企業の間には一定の取引実績があり、今後の対応によってはさらに増加する可能性がある。



※平成25年山形県貿易実態調査

○ TPP参加国のシェア上位国

- ①アメリカ 15.8%
- ②ベトナム 5.6%
- ③シンガポール 4.6%

○ TPP参加国への輸出額に占める上位品目

- ①機械・同部品 46.2%
- ②電気・同部品 38.1%
- ③化学製品 5.4%
- ※(参考) 農水産物: 0.2%
- 飲食品: 0.9%